

日時：平成 30 年 9 月 18 日（火）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 出席委員紹介

4. 授業見学

- ・リーディング（文理） 3－3
- ・実用社会（ビジネス就職） 3－4
- ・機械実習 3（機械系列） 工場（NC）

※その他：1 年次、2 年次 自由に見学

5. 協議

- (1) 保護者からの意見書提出状況について：特になし
- (2) 授業改善に向けてのこれまでの取組について：教頭から説明

- ・「確かな学力」の向上に向けた授業改善のため、平成 26 年度から 4 年に亘り大阪府教育センターによる“パッケージ研修支援”に取り組んだ。
- ・パッケージ研修支援Ⅱをとおして考えてきた「学習評価を軸にした組織的な授業改善」の観点により、課題発見と解決に向けて書く・話す・発表するなど主体的・協働的に学ぶ学習を行う教員が増えてきている。
- ・平成 29 年度「学校経営推進費」を活用し、電子黒板機能付きプロジェクター 2 台を備えた「TRY ルーム」を創設したことで、ICT 機器を活用した授業等を行う教員が増えつつある。また、多くの教員が可動式の同機能付きプロジェクター 6 台を活用した授業を展開している。

(3) 「授業見学意見交換」

☆各委員からの感想・意見

- ・リーディングは、電子黒板を有効に使っていた。
- ・実用社会は多様な生徒がいた。生徒との対話が良かった。
- ・リーディング・実用社会ともに、生徒が発言しやすい雰囲気授業であった。リーディングは、発問を投げかける生徒への配慮があり、生徒が安心して授業を受けていると感じられた。機械工場の設備はすばらしかった。
- ・電子黒板は黒板よりいい。生徒と教員の距離が近いと思った。
- ・生徒とやり取りしながらの授業が良い。機械系列の就職のための面接指導はきちん

としていた。

- ・「前で説明していた生徒」がよくできていた。電子黒板などの ICT の活用は、授業場面に応じてどのように工夫するか、さらなる研鑽が必要。
- ・リーディングの電子黒板の授業はすばらしい。活字なのできれいで見やすく、テンポよく進んでいた。生徒とキャッチボールができていた授業だった。今回、機械実習 3 の授業は就職試験前なので面接試験の練習であったが、機械工場は立派な設備なので、今回は実習を見たい。
- ・今の生徒は昔と違って積極的。学校が落ち着いてきているので対話がしっかりできている。

(4) その他、生徒についての各委員からの感想

- ・廊下で会った生徒がしっかり挨拶してくれた。
- ・喜連西小学校サマーキャンプや盆踊りなど地域の行事に参加してくれた。

(5) 今後の授業の在り方

- ・「関心」「意欲」「態度」などの観点別評価のあり方も考えていきたい。
- ・対話的な学習は、個々の生徒の思考がより深まるようなものをめざしていきたい。

6. 第 3 回協議会日程について